

<学校名> 羽生市立手子林小学校
<所在地> 羽生市下手子林 555
<電話> 048-565-1069
<本事例の特徴>

本校では、ALTとともに5・6年生は週1時間、年間35時間、1～4年生は月1～2時間程度、外国語に触れる活動に取り組んでいる。外国語に慣れ親しむため、児童の興味・関心をひきつける活動を行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成している。

<具体的な取組や成果>

(1) 授業（外国語活動の時間）

〈内容〉

- ① 英語であいさつ、日付の確認
- ② “Hi, friends!”の Lesson ごとに、Flashcard や Small game card などを用いて学習
- ③ 本時のまとめ（主となる表現のまとめ）
 - ・カルタやじゃんけん等児童がよく知る遊びを授業に取り入れることで、関心・意欲を高めることができた。
 - ・ペアやグループ活動を通して、積極的に英語でコミュニケーションできる場をつくり、児童は楽しく学習していた。
 - ・季節や時期によっては、イベントや行事を授業に取り入れることで、外国の文化を知ることができた。

・いろいろな国の言い方が分かってよかったです。
・自分の行きたい国を英語で友達に言うことができて嬉しかったです。
・授業で出てきたイギリスの「ビッグベン」を見てみたいです。

(2) 英語タイム（毎月第2水曜日に実施）

〈内容〉校内放送で流す。

- ① 英語であいさつ、日付の確認
- ② 英語の歌を歌う。
- ③ 今月のスキット（3回ずつ発音の練習）
- ④ 今月のスキットを使ったアクティビティ
 - ・コミュニケーションを重視したゲームを取り入れ、児童は楽しみながら活動している。
 - ・聴覚を働かせ、ALTの発音を意識して聴かせることで、外来語との違いに気をつけて発音することができた。

(3) 掲示物の充実

〈内容〉校内に“Enjoy English”を設置

- ・掲示板で日常的な単語や会話を取り上げることで、外国語への親しみや日本のよさに気付くことができた。

